

取扱説明書

電動式移動棚

BSD エレクトリック neo



- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、製品の内容を十分に理解してください。
- この製品の操作者、管理者は製品の内容を十分に理解していない方には操作をさせないでください。
- お読みになったあとは、いつも製品のそばに置いてご使用ください。

製造元：株式会社文祥堂

は じ め に

このたびはBSD エレコンパック neoをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
この取扱説明書は本製品をお使いになる方々のために使用方法を説明したものです。
安全に正しく使用していただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、
指定の方法でご使用くださいますようお願い申し上げます。
なおご不明な点は販売店または弊社へお問い合わせください。

本取扱説明書をお読みいただく前に

●表示と意味は次のようになっています



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。

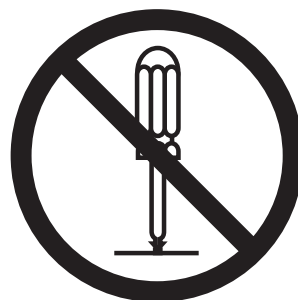


注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害または、収容物などの損害の発生が想定される内容を示しています。

●製品上に記された警告ラベル

製品上に記された警告ラベル



分解禁止

安全にお使いいただくために、 下記の事項をお守り下さい。



警告

警告…
誤った取り扱いをしたときに、重傷などの
重大な結果に結びつく可能性が大きいもの

操作上の警告

- 取扱説明書どおりに使用してください。指定以外の方法はケガをすることがあります。
- 移動棚の通路内に人がいないことを確認してから動かしてください。人に当たってケガをすることがあります。
- 棚と棚のすきまに顔や手など身体を入れないでください。はさまれてケガをすることがあります。
- 移動棚レール上の異物は取り除いてください。脱輪によって棚が倒れてきて、ケガをすることがあります。
- 収容物を棚板からはみだして収納しないでください。収容物を傷つけたり、荷くずれによってケガをすることがあります。
- 最大積載質量以上に収納しないでください。棚板が落下してケガをすることがあります。
- 安全保安部品は絶対にはずさないでください。事故によってケガをすることがあります。



注意

注意…
誤った取り扱いをしたときに、傷害または収
容物などの損害に結びつく可能性があるもの

操作上の注意

- 子供には操作させないでください。事故でケガをすることがあります。
- 移動棚の通路の中から棚を操作しないでください。はさまれてケガをすることがあります。
- 棚板や本体の上に乗らないでください。転倒してケガをすることがあります。
- 移動棚の通路内には、台車・踏台・物などを放置しないでください。
- 台車や踏み台などを棚にぶつけないでください。
- 転倒防止パイプなどにぶらさがらないでください。壊れてケガをすることがあります。
- 電源キースwitchのある棚の制御盤扉を開けて、漏電ブレーカーの作動確認を月一回以上行ってください。
- 制御盤扉を開けたまま、棚を移動させないでください。人に当たってケガをすることがあります。
- ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。本体が壊れてケガをすることがあります。
- 手動操作装置をお使いの場合は、必ず電源を切ってください。
- 異常を発見したら、すみやかに販売店または弊社にご連絡ください。

棚板の取付け方、収容物ののせ方の注意

- 上板の上に物をのせないでください。落下してケガをすることがあります。
- 棚板は必ず袖板のつめとかみ合わせ、水平に取付けてください。棚板がはずれてケガをすることがあります。
- 危険物を収納しないでください。人体や衣服などを傷つけることがあります。
- 不安定な収容物を棚にのせないでください。また、不安定な積み方をしないでください。落下してケガをすることがあります。

改造などの禁止

- 修理・改造・移設などは弊社にお任せください。

B.S.D

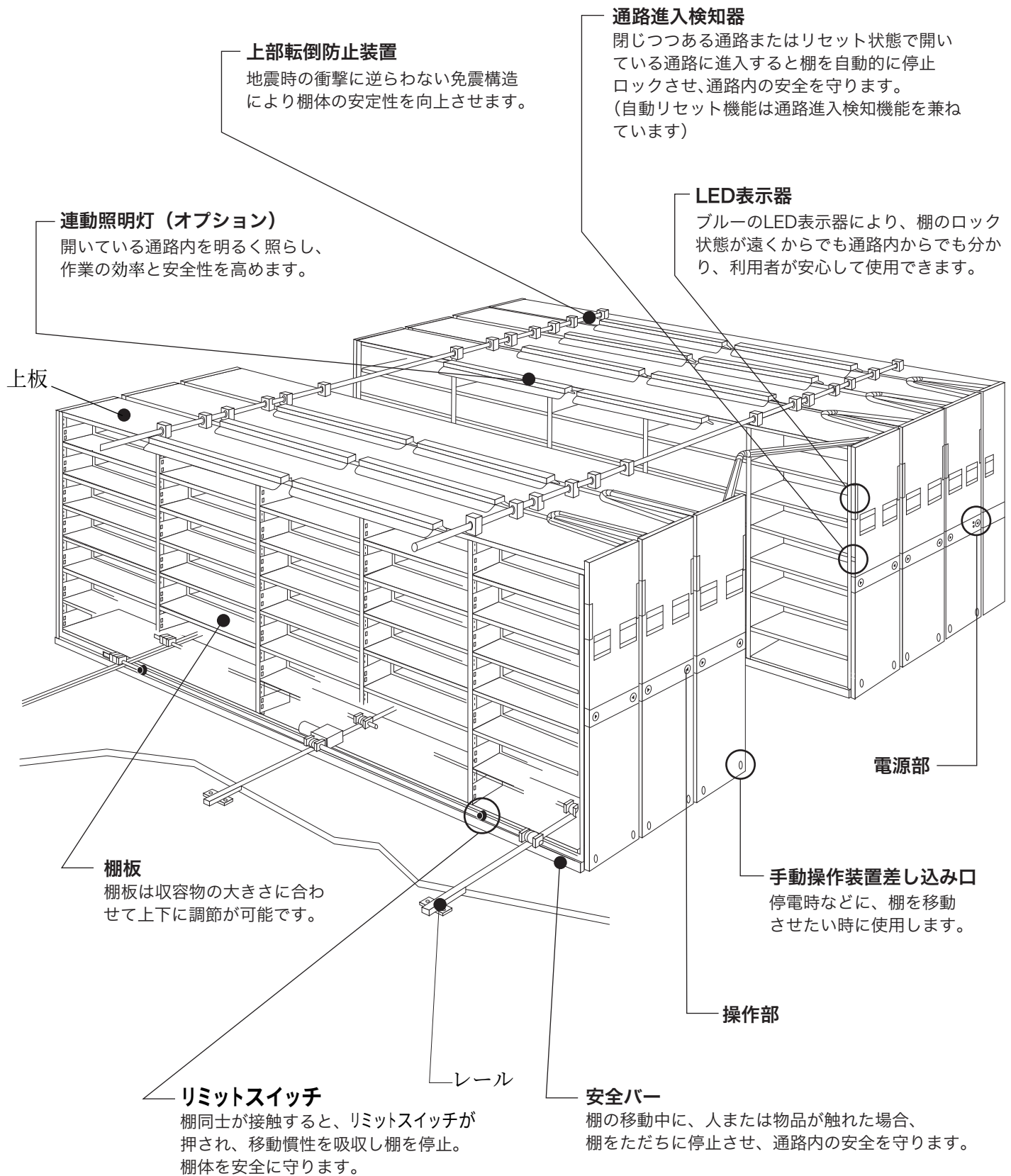
エレクトリック neo

も く じ

本取扱説明書をお読みいただく前に	2
安全にお使いいただくために	3
もくじ	4
各部のなまえとはたらき	5
本体	5
操作部	6
操作のしかた	7
操作のしかた 通常操作)	7
通路を分割して使いたいときには	11
移動中の棚を止めたいときには	13
安全バー作動で停止したときには	14
散開させるときの操作	15
通路進入検知器について	17
棚板の段組を変えたいときには	18
各型の最大積載質量について	18
故障かなと思ったら	19
サービスマンが来るまでに棚を動かしたいときには	21
特殊操作	21
強制操作	22
停電や故障などで棚が動かないときには	23
日常のお手入れのしかた	24
漏電ブレーカーの確認	24
レール上の異物の確認	24
蛍光灯の取りかえかた	25
そうじのしかた	25
改造などの禁止について	25

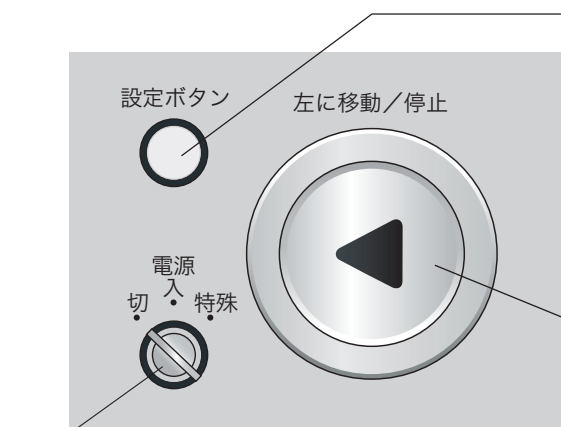
各部のなまえとはたらき

■本体



※これはイメージ図です。電源部など位置が変わることもあります。

■電源・操作部



電源キースイッチ

以下の機能を有します。

- 電源の入・切
- 特殊操作の切り換えをする機能
- 強制移動操作の設定をする機能
(電源ランプ兼設定ボタンとあわせて操作)

電源ランプ兼設定ボタン

以下の機能を有します。

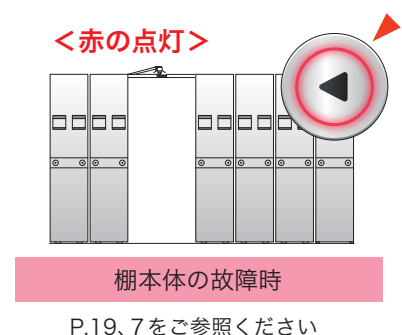
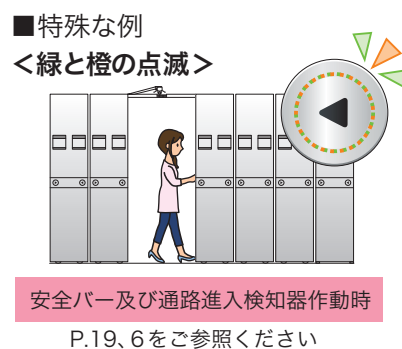
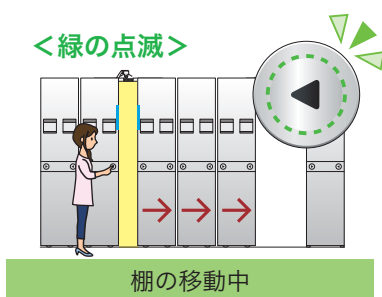
- 電源が入ったときに点灯する機能
- 安全バー・通路進入検知器の作動時に点滅する機能
- 散開操作をする機能
- 強制移動操作の設定をする機能
(電源キースイッチとあわせて操作)

通路スイッチ

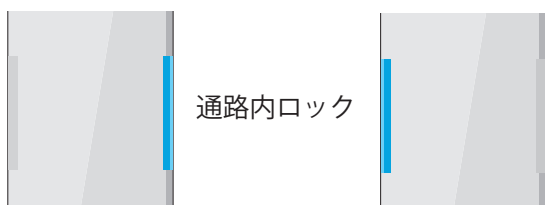
以下の機能を有します。

- 通路を選択する機能
- 移動中の棚を停止させる機能
- 通路ロックを解除する機能
- 通路進入検知器の作動による通路ロックを解除する機能
- 連動照明灯を点灯・消灯する機能(オプション)
- 強制移動操作時に棚を右行・左行させる機能

■通路スイッチランプ表示



■LED表示器



棚通路入り口にあるブルーのLED表示器により、棚のロック状態が遠くからでも通路内からでも分かり、利用者が安心して使用できます。

操作のしかた（通常操作）



警告

移動棚の通路内に人や物などがないことを確認してから操作してください。

電源の入れ方

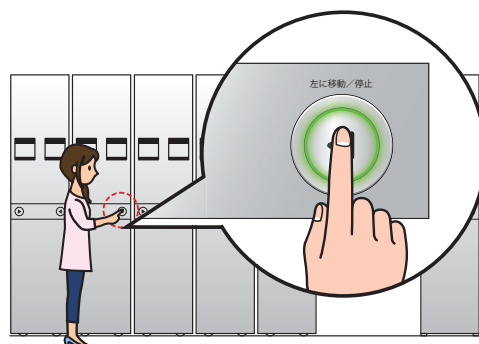
1 電源キースwitchにキーを差し込み、キーを回し「入」に合わせる。



- 電源が入ると電源ランプが緑色に点灯し、操作が可能となります。

通路の開け方

2 開きたい通路の両側にあるいずれかの通路switchを押す。



- 通路switchを押すと棚が移動をはじめます。

※オンデマンド機能を設定した場合、動かしたい棚の通路switchを押している間のみ、棚が移動します。

オンデマンド機能の設定方法は、別冊「インフォメーションボード取扱説明書」に記載されています。

用語解説

通路ロックとは・・・ 通路を使用中に、ほかの通路switchを押しても、使用中の通路が閉じてこないようにロックさせる機構です。ロックされている通路の通路switchは緑に点灯しています。

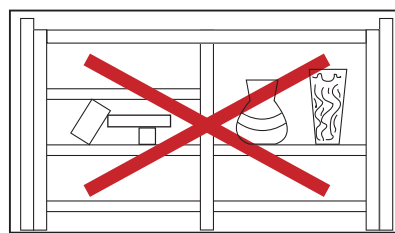
通路リセットとは・・・ 通路ロックを解除することです。緑に点灯している通路switchを押せば、その通路の通路ロックは解除されます。

警告 はみだし収納禁止



本や物品などの収容物は、棚板からはみださないように収納してください。はみだして収納すると、収容物にキズをつけたり、安全バー装置が働かず、ケガをすることがあります。

注意 不安定な物・危険物の収納禁止

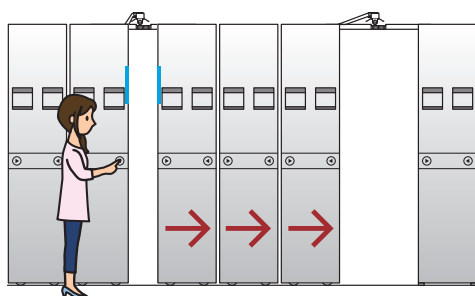


不安定な収容物を棚にのせたり、不安定な積み方をしないでください。落下してケガをすることがあります。
危険物を収納しないでください。人体や衣服などを傷つけることがあります。

通路の開け方

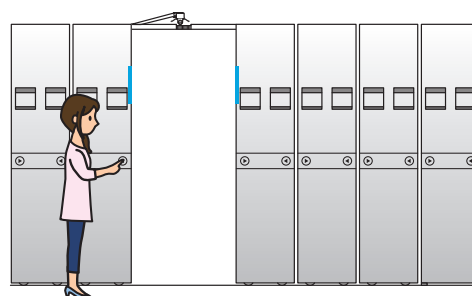
3

棚が移動する。



4

通路が開く。



- 棚の移動中は、通路のスイッチが緑に点滅します。
同時にLED表示器が青に点滅します。

用語解説

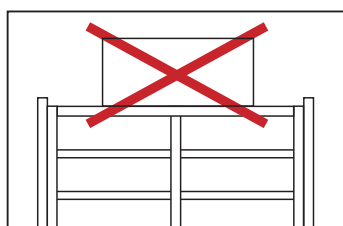
自動リセット機能とは・・・ 通路に入った人数と出た人数をカウントして、最後の利用者が通路を出ると通路ロックが自動的にリセットされる機能です。

フリーロック機能とは・・・ 開いた通路内に利用者が進入した時点で通路ロックがかかります。進入しない時は通路ロックがかからない機能です。

インターロック機能とは・・・ 通路が開ききると同時に棚は自動的にロックされる機能です。

※自動リセット機能とフリーロック機能搭載が標準仕様となりますが、フリーロック機能とインターロック機能は納入時にどちらかをお選びいただけます。

⚠ 注意 上板の上、収納禁止



上板の上に物をのせないでください。落下してケガをすることがあります。

⚠ 注意 棚に乗りながらの作業禁止

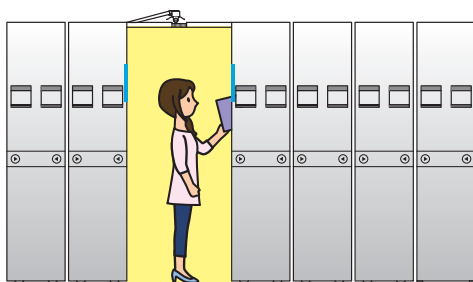


棚板や本体の上に乗らないでください。転倒してケガをすることがあります。

操作のしかた(通常操作)つづき

通路の開け方

5 棚が停止してから出納作業をする。



通路に入ると自動的にロックがかかり、通路スイッチが緑及びLED表示器が青に点灯し、同時に連動照明灯(オプション)が点灯します。

6 作業が終了したら、通路を出て。



作業が終了して、通路を出ると自動的に連動照明灯(オプション)が消え、ロックが解除されます。(ロックが自動的に解除されないときは、通路スイッチを押してください。)

※他の通路を開きたい時は、**2**に戻って続けて操作してください。

電源の切り方

7 電源を切る。



- 棚を使用しないときには、電源キースイッチを「切」に合わせて電源を切ってください。
- すべての出納作業を終了したときや、長時間その場を離れるときは、電源キースイッチのキーは抜いてください。電源キースイッチのキーを抜いたあとは、大切に保管してください。

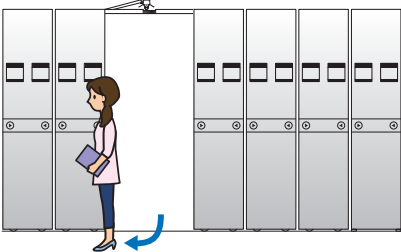
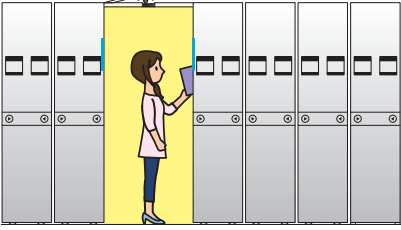
注意 通路の中から棚を操作しないでください。はさまれてケガをすることがあります。

注意 移動棚の通路内に台車・踏台・物などを放置しないでください。



■フリーロック（またはインターロック）機能、自動リセット機能の装備の有無により、5、6の操作が以下になります。

※次ページ以降の操作の仕方も下記が基本の操作方法となります。置き換えてご確認ください。不明点はお問合せください。

インターロック機能 自動リセット機能 が装備されている場合	5 棚が停止してから出納作業をする。  ■インターロック機能 ●通路が開き終わると、通路スイッチが緑の点灯に変わります。同時にLED表示器は青の点灯となります。 ●通路が開き終わると、通路ロックがはたらき他の通路スイッチを押しても棚が移動しないため安全です。	6 作業が終了したら、通路を出る。  ■自動リセット機能 作業が終了して、通路を出ると自動的に連動照明灯（オプション）が消え、ロックが解除されます。（ロックが自動的に解除されないときは、通路スイッチを押してください。）
フリーロック機能 自動リセット機能 が装備されていない場合	5 棚が停止してから出納作業をする。  ■フリーロック機能 通路に入ると自動的にロックがかかり、通路スイッチが緑及びLED表示器が青に点灯し、同時に連動照明灯（オプション）が点灯します。	6 作業が終了したら通路を出て開いている通路の両側にあるいずれかの通路スイッチを押す。  ●通路スイッチを押すと通路スイッチとLED表示器のランプが消え、通路ロックが解除されます。同時に連動照明灯（オプション）も消えます。
インターロック機能 自動リセット機能 が装備されていない場合	5 棚が停止してから出納作業をする。  ■インターロック機能 ●通路が開き終わると、通路スイッチが緑の点灯に変わります。同時にLED表示器は青の点灯となります。 ●通路が開き終わると、通路ロックがはたらき他の通路スイッチを押しても棚が移動しないため安全です。	6 作業が終了したら通路を出て開いている通路の両側にあるいずれかの通路スイッチを押す。  ●通路スイッチを押すと通路スイッチとLED表示器のランプが消え、通路ロックが解除されます。同時に連動照明灯（オプション）も消えます。

通路を分割して使いたいときには

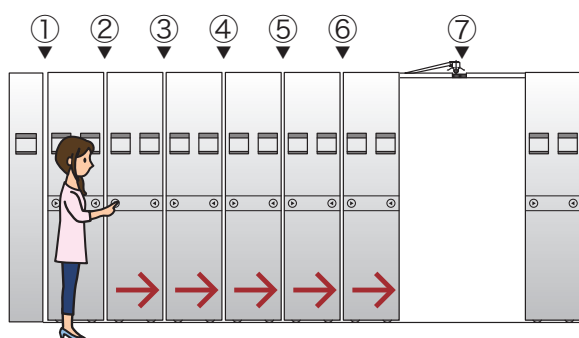
分割多通路操作

■BSDエレコンパックneoには、1つの通路を2つに分けて使用できる分割多通路機能が付いています。

例えば通路②、通路⑤を開きたい場合

1

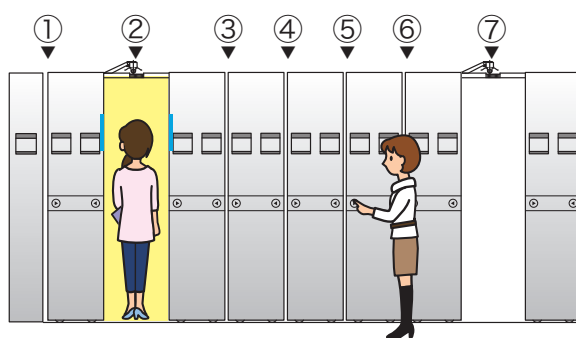
通路②の通路スイッチを押す。



●通路スイッチを押すと通路②の通路が開きます。

2

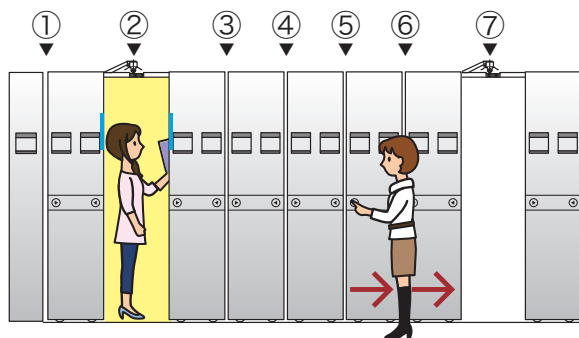
通路②が適当な幅に開いたとき、手近の通路スイッチを押し、棚をいったん停止させる。



●②の通路に入り、通路をロックさせてください。

3

通路⑤の通路スイッチを押す。



●通路スイッチを押すと通路⑤の通路が開きます。

4

同時に出納作業をする。



●通路②と⑤とで同時に出納作業が行えます。

●通路②の出納作業が先に終了した場合、その通路を出ると、自動的に連動照明灯（オプション）が消え、ロックが解除され通路①・③・④を開くことができます。

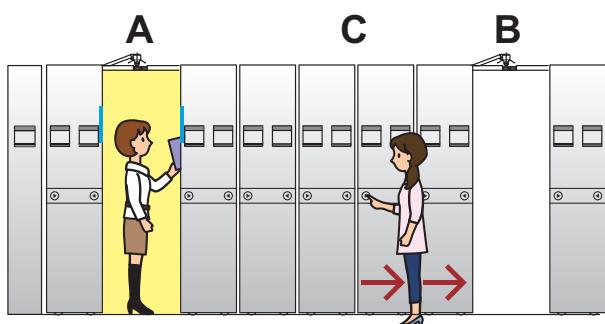
完全多通路方式 (オプション)

■1つの単位の中で、一定の幅の通路が複数とれるように、あらかじめ設定されている方式です。それぞれの通路幅、通路の数は納入時の設定で決まります。

通路の開け方

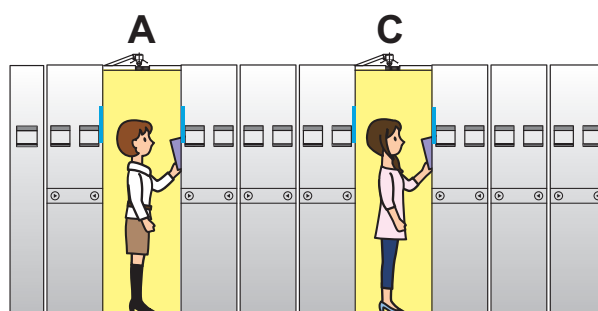
1

通路 A の使用中に
通路 C を開く。



2

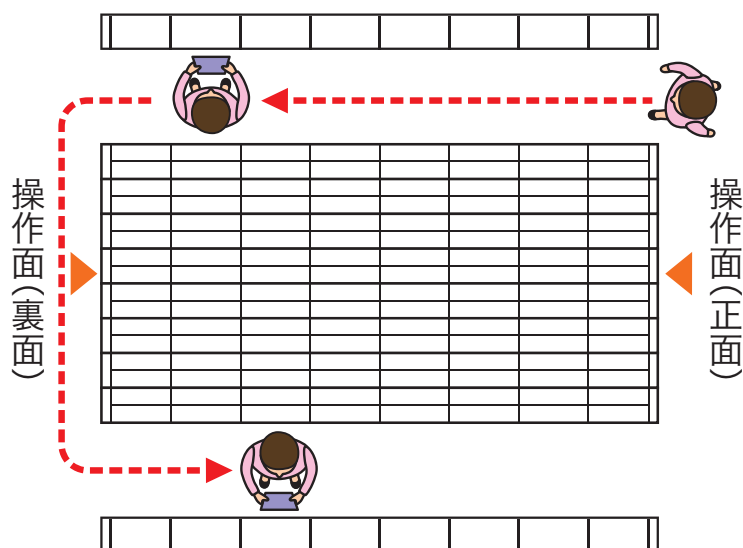
棚が停止してから
出納作業をする。



●通路 A と C とで同時に作業できます。

■両面操作装置（オプション）の操作の仕方

通路の開け方

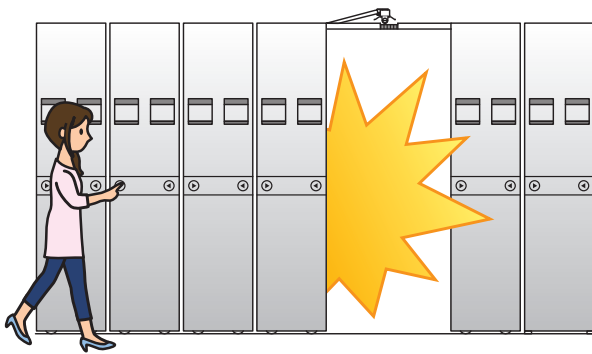


通路スイッチが棚の正面と裏面に付いてます。
正面側で通路を開き、棚内作業終了後、裏面で通路ロックを解除できます。

移動中の棚を止めたいときには

操作中に棚を止めたいときには・・・

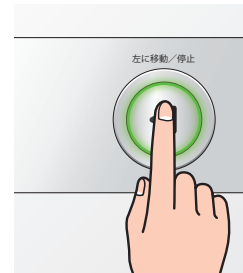
- 1** 手近の通路スイッチを押してください。
棚はただちに停止します。



インターロック機能が設定されている場合、手近の通路スイッチを押すと、その通路スイッチが緑に点灯し、棚はただちに停止します。

操作を再開するには・・・

緑に点灯している通路スイッチを押してください。開きたい通路の選択ができます。

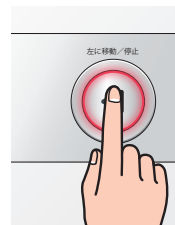


通路内にいるとき閉じてくる棚を止めたいときには・・・

- 1** 棚の下部にある安全バーを押してください。
棚はただちに停止します。



- 2** 操作を再開するには・・・
通路内の安全を確認したあとで、赤く点滅している通路スイッチを押してください。開きたい通路の選択ができます。



※ インターロック機能が設定されている場合
● 通路内の安全を確認したあとで、赤く点滅している通路スイッチ及び緑に点灯している通路スイッチを押してください。開きたい通路の選択ができます。

安全バー作動で停止したときには

- 通路内にある物をはさんでしまったときには、安全バーが作動し移動中の棚はただちに停止します。
- 安全バーが作動したまま他の通路を選択すると、ピーピーとブザー音が鳴ります。
- 安全バーが1つの通路で作動しているときのみ、通常操作でその通路を開くことができます。

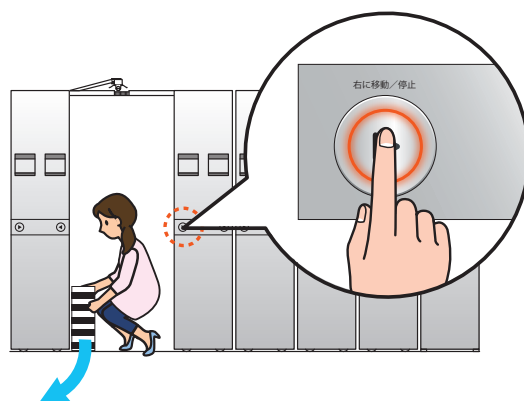
物をはさんでしまったときには・・・

- 1** インターロック機能が設定されている場合
緑色に点灯している通路スイッチを押す。



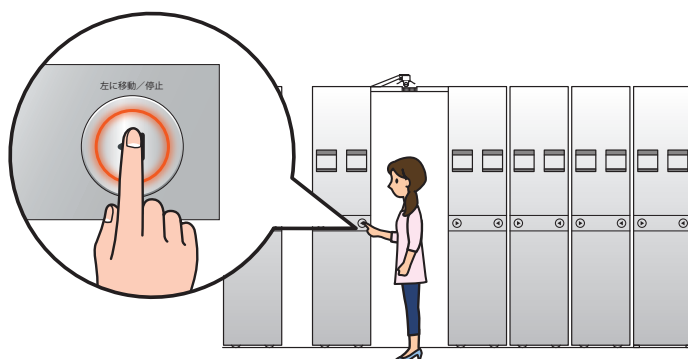
※フリーロック機能が設定されている場合は、2からの操作になります。

- 2** 赤く点滅している通路スイッチを押し続けて、物をはさんでいる通路を開く。



- 通路が開いたら障害物を取り除いてください。障害物を取り除いたらブザーが鳴り止みます。
- 通路を出ると自動的にロックが解除され、開きたい通路の選択ができます。

マルチストップ機能（オプション）で停止したときには



- 作動した棚の両側の通路スイッチが赤色に点灯します。このときピーピーとブザー音がなります。

赤色に点灯している通路スイッチを押すとリセットされます。

お知らせ

1. 収容物が棚からはみ出したり、不安定な積み方で落下したりすると、安全バー作動やマルチストップ機能の作動になることがあります。
2. 安全バー作動が2つの通路以上で同時に発生すると上記の操作はできなくなります（特殊操作の項参照）。

散開させるときの操作(散開機能)

■BSDエレコンパックneoには、棚の散開(あるいは集束)を自動で行う散開機能が付いています。



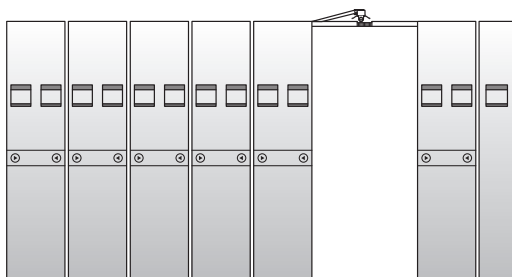
警告

移動棚の通路内に人や物などがいないことを確認してから操作してください。

散開操作の方法

1

すべての通路スイッチが消え、
使用中でないことを確認してください。



2

設定ボタンを押す。



- 設定ボタンを押すと、棚が自動的に散開します。

散開機能のメリット

- 各棚間に通気のための空間をつくり、空調効果を向上させます。
- 本製品が設置された部屋に除湿機を取り付ける場合は、その除湿効果が棚の内側にまで行きわたります。



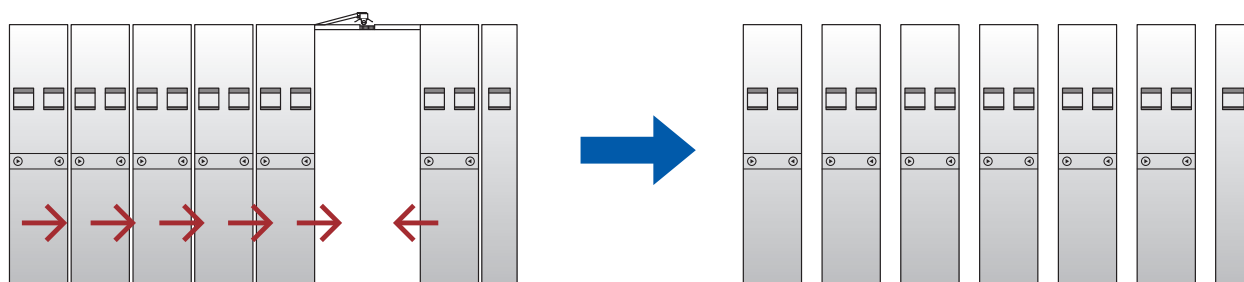
散開操作の方法

3

棚が散開移動をする。

4

棚が散開位置で自動停止する。



お知らせ

1. 散開操作は通常操作で使用了後でないと作動しません。
2. 散開機能は均等散開、不均等散開、集束の選択ができます。設定には専門の技術が必要です。必ず販売店または弊社へご相談ください。

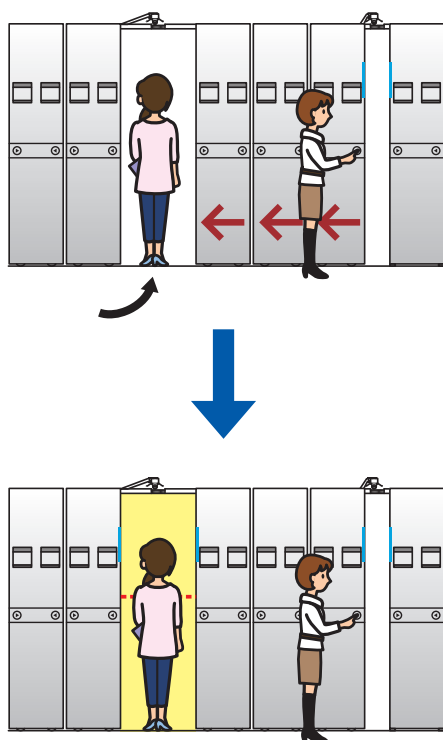
用語解説

- 均等散開とは・・・ 各棚間が自動的に等間隔で開き、均等な空間を形成します。
- 不均等散開とは・・・ 棚があらかじめ設定した間隔で自動的に開き、必要な所に通気空間や通路を形成します。
- 集束とは・・・・・・ 棚を自動的に中央または左、右によせて必要な所に通気空間や通路を形成します。

通路進入検知器について

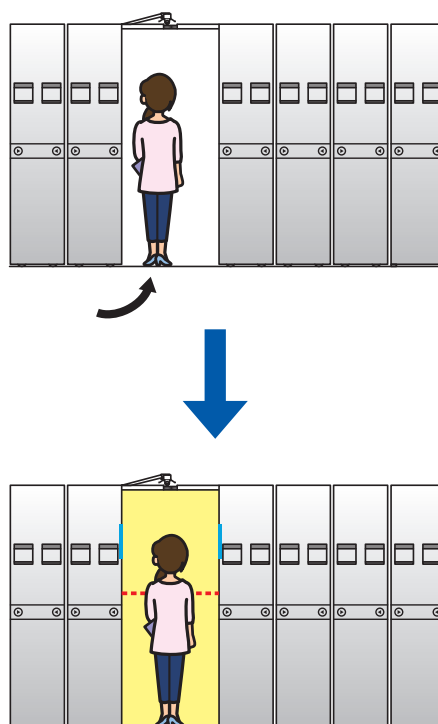
■BSDエレコンパックneoには、使用者の安全を確保するため、閉じつつある通路に入るか、ロックされていない通路に入ると、棚を自動的に停止ロックさせる通路進入検知器が付いています。
(自動リセット機能は通路進入検知機能を兼ねています)

●閉じつつある通路に入ると…



移動中の棚が停止し、通路が自動的にロックされます。

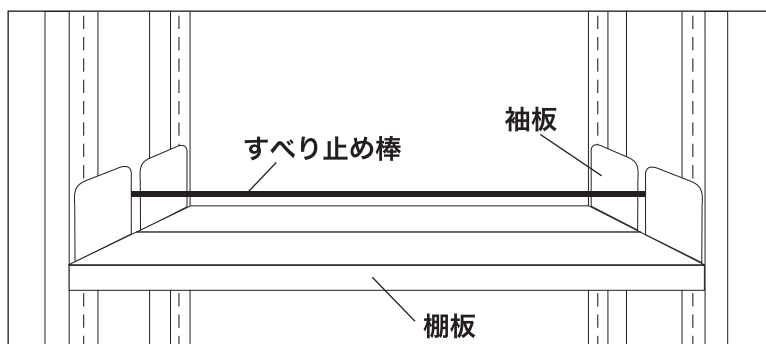
●ロックされていない通路に入ると…



通路が自動的にロックされます。

通路を出ると自動的にロックが解除されます。
(解除されないときは通路スイッチを押してください。)

棚板の段組を変えたいときには

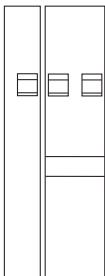
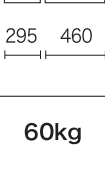
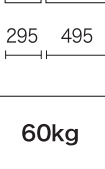
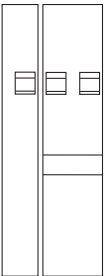
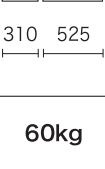
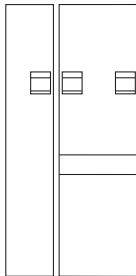
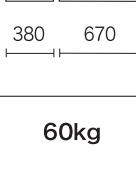
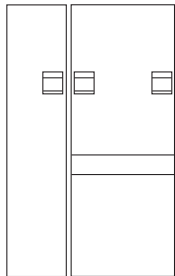
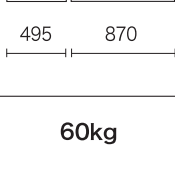
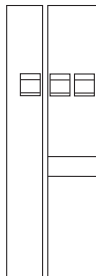
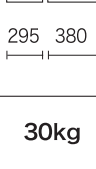


1. 収容物を取り出し、すべり止め棒・棚板・袖板の順にはずします。
2. 収容物の高さに合わせて、左右の袖板を取付けます。
3. 棚板・すべり止め棒の順に取付けます。

⚠ 注意 棚板は、必ず袖板のツメとかみ合わせ、水平に取り付けてください。

⚠ 注意 最下段の棚板は、はずさないでください。

各型の最大積載質量について

規格	B 型		S 型		K 型		F 型		M 型		CD型	
奥行	単式	複式	単式	複式	単式	複式	単式	複式	単式	複式	単式	複式
												
	295	460	295	495	310	525	380	670	495	870	295	380
最大積載質量	一段当り		一段当り		一段当り		一段当り		一段当り		一段当り	
	一連当り	一連当り	一連当り	一連当り	一連当り	一連当り	一連当り	一連当り	一連当り	一連当り	一連当り	一連当り
	300kg	600kg	300kg	600kg	300kg	600kg	300kg	600kg	375kg	750kg	225kg	450kg

⚠ 警告 最大積載質量以上に収納しないでください。棚板が落下してケガをすることがあります。

⚠ 注意 実際の最大積載質量は建物などの耐荷重などにより異なる場合があります。

故障かなと思ったら

■棚に異常が発生した時、以下のような対処をしてください。

■4、5、6、7の対処については、通路内に人がいないことを確かめて必ず2人で行ってください（安全装置は働きません）。

※フリーロック機能が設定されている場合、4、5の（ ）の症状はありません。

	現 象	原 因	対 処
1	電源キースイッチを「入」にしても、電源ランプが点灯しない。	●ACコンセントに電源がきていない。 ●コンセントが抜けている。 ●漏電ブレーカーが落ちている。	●建物の分電盤の遮断器を確認する。 ●電源を切ってからコンセントを差し込む。 ●電源キースイッチのある棚の制御盤扉を開けて中にある漏電ブレーカーのレバーを上げる。
2	移動中に棚がゆれて、しばらくすると止まる。	収容物が棚からはみ出ている。 (棚の下部にあるリミットスイッチが押し込まれていないため)	ゆれている棚の通路を開き、収容物を棚板からはみ出さないように収納する。
3	移動中に棚がガタンとゆれる。	レールの溝に異物が落ちている。	レールの溝にある異物を取り除く。
4	通路スイッチが(緑の点灯と)赤く点滅して棚が動かない。	安全バーが作動している。	赤に点滅している通路内に何か挟まれているか確認してください。 ひとりの人が電源キースイッチを「特殊」に合わせ、そのままにしてください。 (緑の点灯が消え)、そのスイッチを押します。 (特殊操作P21をご参照ください)
5	通路スイッチが(緑の点灯と)橙に点灯して、通路リセットできず棚が動かない。	通路進入検知器が作動している。	ひとりの人が電源キースイッチを「特殊」に合わせ、そのままにしてください。 (緑と)橙の点灯が消え、開きたい通路のスイッチを押し続けます。 (特殊操作P21をご参照ください)
6	通路スイッチが緑と橙に点滅して棚が動かない。	安全バーと進入検知器が作動している。	緑と橙に点滅している通路内に何か挟まれているか確認してください。 ひとりの人が電源キースイッチを「特殊」に合わせ、そのままにしてください。 緑と橙の点灯が消え、赤の点滅に変わり、開きたい通路のスイッチを押します。 (特殊操作P21をご参照ください)
7	ひとつの棚の両側の通路スイッチが同時に赤く点灯して棚が動かない。	棚本体が故障している。	赤く点灯している通路内に何か挟まれているか確認してください。ひとりの人が電源キースイッチを「切」に合わせ、その後設定ボタンを押しながら、電源キースイッチを「入」に合わせてください。 移動させたい方向の通路スイッチを押してください。 (強制操作P22をご参照ください)



対処後も異常が直らない場合	どうしても動かしたい場合
ただちに販売店または弊社の サービスマンを呼ぶ。	サービスマンが来るまでの 間に棚を動かしたい時は、 23ページの手動操作を行う。

サービスマンが来るまでに、棚を動かしたいときには 特殊操作（安全バーと通路進入検知器が作動している場合）

■前ページの対処をしても棚が動かない時には、次の操作をおこなってください。



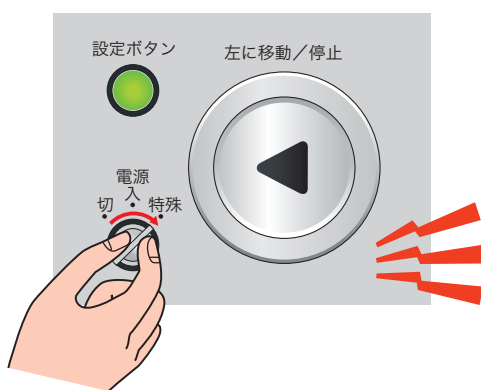
警告

この操作は安全装置が働きません。

開いている通路内に人や物がいないことを確認してから操作してください。

必ず2人で操作してください

1



ひとりの人が、電源キースイッチを「特殊」に合わせ、そのまま保持する。

※この場合、全通路のロックはすべて解除されますので、ご注意ください。

- 電源キースイッチを「特殊」に合わせると電子ブザー音が鳴ります。

2



- 19ページの4・5・6の対処に従って操作してください。

- 通路スイッチのランプ表示については、6ページを参照してください。

- 通路スイッチが赤く点滅している場合
その通路を開く場合以外は押さないでください。

3



開けたい通路の通路スイッチを押す。

- 通路が開き終わったら、電源キースイッチから手を離してください。
キーは「入」の位置に戻ります。

強制移動操作

■特殊操作をしても棚が動かない時には、次の操作をおこなってください。



この操作は安全装置が働きません。
開いている通路内に人や物がいないことを確認してから操作してください。

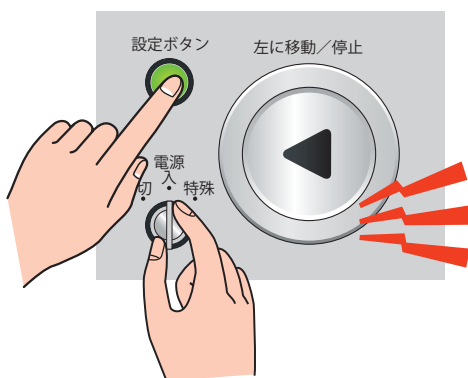
通常の操作とは全く異なります

1



電源キースイッチを「切」に合わせる。

2



設定ボタンを押し続けながら、電源キースイッチを「入」に合わせる。

- このとき、電子ブザー音が鳴ります。
- ブザーが鳴ったら手を離してください。

3



移動させたい方向の通路スイッチを押す。

- 各棚の両サイドにある通路スイッチのうち、移動させたい方向の通路スイッチを押してください。移動方向はスイッチの◀▶印とは**逆方向**になります。
- 棚は必ず**開いている側**から順番に1台ずつ動かしてください。

停電や故障などで棚が動かないときには

手動操作

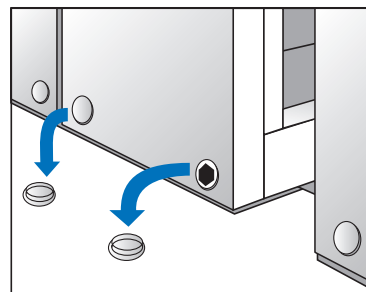
■万一の停電や故障などで棚の操作ができないときには、次の手動操作をおこなってください。

1



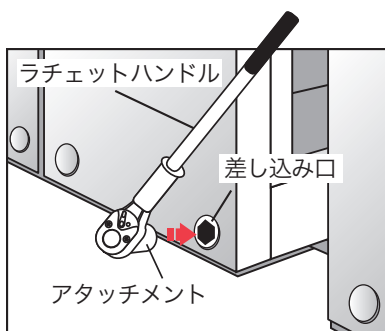
電源キースイッチを「切」に合わせて電源を切る。

2



棚正面の下部にあるキャップをはずす。

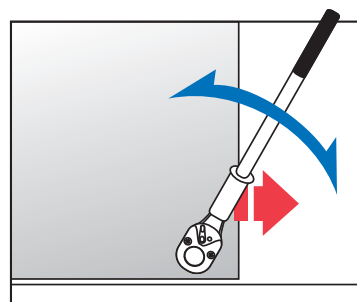
3



ラチェットハンドルをのばし、アタッチメントを取り付け、差し込み口に取り付ける。

- 差し込み口はどちらかの一方にあります。ラチェットハンドルを差し込む前に、確認してください。

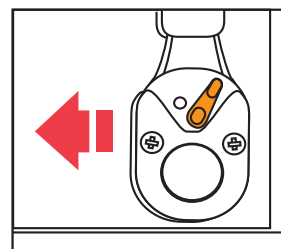
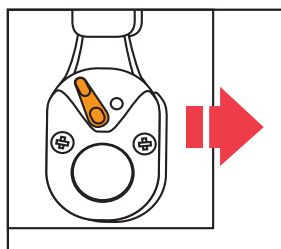
4



レバーを左右に動かし、棚を移動させる。

- 棚は1台ずつ移動させてください。移動させた後は必ずラチェットハンドルを外してください。

- 棚を逆方向に移動させる時は、ラチェットハンドルにある小さなレバーを動かしてください。棚は逆方向に動きます。



注意

手動操作装置の使用中に電気が入ると危険です。必ず電源を切ってからご使用ください。

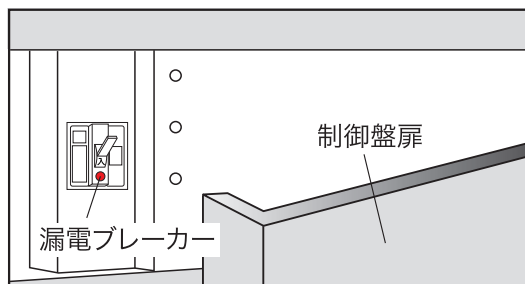
お願い

停電になった場合を考慮して、ラチェットハンドルとアタッチメントは本製品のそばに保管してください。

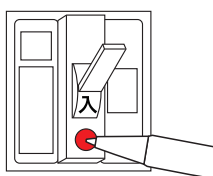
日常のお手入れのしかた

本製品を正しくご使用いただくために、次の事項を必ずご確認ください。

漏電ブレーカーの確認

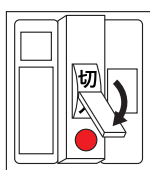


■主制御盤がある棚（電源キースイッチのある棚）の制御盤扉を開けて、漏電ブレーカーの作動確認をおこなってください。



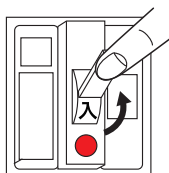
1

漏電ブレーカーの下にある赤いボタンをボールペンなどの先で押してください。



2

漏電ブレーカーのレバーが下りて電源が切れ、漏電ブレーカーが正常にはたっているのが確認できます。
※漏電ブレーカーのレバーが下りないときには、コンセントが抜けていないか確認してください。



3

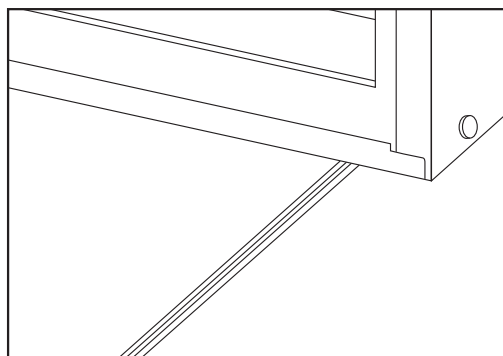
漏電ブレーカーのレバーを再び上げ、制御盤扉を閉めてください。

お願い

漏電ブレーカーの作動確認は、**月1回以上**おこなってください。

レール上の異物の確認

■移動レール上の**異物**は取り除いてください。
(電源を切ってください)

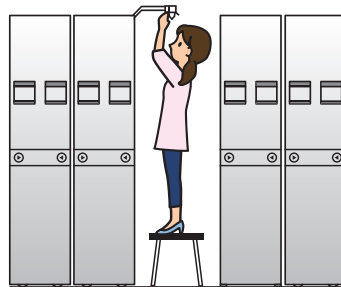


日常のお手入れのしかた つづき

本製品を正しくご使用いただくために、次の事項を必ずお守りください。

蛍光灯の取りかえかた

連動照明灯 (おプシヨ) の蛍光灯が劣化したときは、お客様自身で交換してください。
蛍光灯は外したものと同一種類、定格のものをご使用ください。



1 電源キースイッチを「切」に合わせて、電源を切る。

2 踏台を使い、蛍光灯を交換する。
照明器具のソケットと蛍光灯の口金を合わせ、確実に取り付けてください。

⚠ 注意 棚板や本体の上に乗らないでください。転倒してケガをすることがあります。

⚠ 注意 点灯中や消灯直後は蛍光灯が熱いので、手や肌などをふれないでください。

そうじのしかた

ホコリは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤をひたした布をよくしぼってふき、そのあと乾いた布で水分をふき取ってください。

⚠ 注意 本体に直接水をかけないでください。

⚠ 注意 下記の洗剤などは使用しないでください。



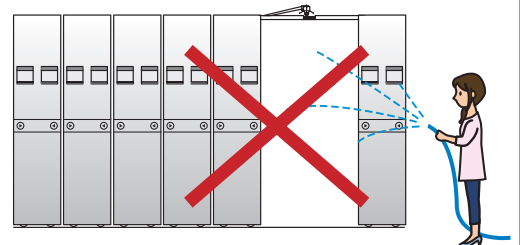
住宅家具用洗剤
弱アルカリ性または
アルカリ性洗剤
弱酸性または酸性洗剤



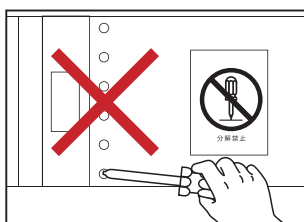
たわし、
クリームクレンザー、
ベンジン、シンナー、
漂白剤など



LPGなど
可燃性ガス入り
スプレー洗剤

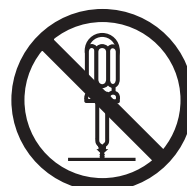


改造などの禁止について



⚠ 警告

安全保安部品は絶対に
はずさないでください。



分解禁止

⚠ 注意

修理・改造・移設などは、
弊社にお任せください。



オフィスルネサンス®を提案する

製造元 株式会社 文 祥 堂

本 社 〒104-0061 東京都中央区銀座 3-4-12 TEL 03-3566-3535
大 阪 支 店 〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-5-9 井門瓦町ビル7階 TEL 06-6233-9005
名 古 屋 支 店 〒460-0003 名古屋市中区錦2-2-13 名古屋センタービル TEL 052-218-2671

オフィスルネサンス®は文祥堂の登録商標です。

- この取扱説明書の内容は2019年8月現在のものです。
- この取扱説明書に掲載の仕様は、予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 商品の色は、印刷上、実際のものと多少異なる場合がありますので、ご了承ください。

